

教育民生協議会記録

開会年月日	平成 29 年 1 月 11 日
開会時刻	午前 10 時 42 分
閉会時刻	午前 10 時 59 分
出席委員名	◎品川幸久 ○上村和生 北村 勝 楠木宏彦
	吉井詩子 吉岡勝裕 中村豊治
	浜口和久議長
欠席委員名	藤原清史 中山裕司
署名者	—
担当書記	中野 諭
協議案件	保健福祉拠点施設について
説明者	健康福祉部長、健康福祉部次長、健康福祉部参事、福祉総務課長
	その他関係参与

協議経過

品川委員長開会宣言及び会議成立宣言後、直ちに会議に入り、協議案件として「保健福祉拠点施設について」当局から説明を受け、質疑の後、聞き置くこととし、閉会した。

なお、詳細は以下のとおりです。

開会 午前10時42分

◎品川幸久委員長

ただいまから教育民生委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は7名でありますので、会議は成立しております。

本日御協議願います案件は、「保健福祉拠点施設について」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認め、そのように取り計らいをさせていただきます。

◎品川幸久委員長

それでは、「保健福祉拠点施設について」を御協議願います。

当局からの説明をお願いします。

健康福祉部長。

●江原健康福祉部長

本日は、お忙しいところ教育民生委員会に引き続きまして協議会をお開きいただきまして、ありがとうございます。

案件につきましては、ただいま委員長御案内のとおりでございます。

なお、詳細につきましては担当課長から御説明申し上げますので、何とぞよろしく御協議のほどお願い申し上げます。

【保健福祉拠点施設について】

◎品川幸久委員長

福祉総務課長。

●大桑福祉総務課長

それでは、「保健福祉拠点施設」について御説明申し上げます。

資料を御高覧願います。

本件につきましては、6月14日及び11月22日開会の本協議会において御説明申し上げ、御協議いただいたところでございますが、前回協議会での御指摘を踏まえ、本日改めてその目的、現状での課題、対応すべき取り組みなどについて御説明申し上げます。

まず、1、社会的背景等でございますが、近年、少子・高齢化に伴う人口構造の変化や産業構造の変化、また生活様式や生活意識の変化などにより地域におけるつながりが希薄化する中、誰にも相談できずさまざまな課題を抱えたまま孤立するなど福祉を取り巻く環境は大きく変化してきております。

また、ひきこもりやごみ屋敷の問題のように、既存の福祉サービスでは対応が困難な事例や、既存の福祉サービスの要件に該当しない事例など、制度のはざまにある支援を必要とする人、生活困窮の問題では、既存のサービスが利用できるにもかかわらず、本人の力では利用や活用ができない状態にあるなど、経済的困窮だけでなく社会的な孤立、病気、障がいなどが複雑に絡み合っている実態がございます。

一方で、少子・高齢化への対策として、少しでも子供を産み育てやすい環境を整えていく必要があります。妊娠、出産から子育てに対する不安感や孤独感を抱えている家庭への切れ目ない支援や、近年、大きく取り上げられております発達障がいのある子供の早期発見、早期支援の必要性も高まってきております。

伊勢市地域福祉計画においては、4つの基本目標を掲げて地域の課題を地域で解決する仕組みづくりを目指しています。平成29年度から実施するいせライフセーフティネット事業は、この計画に基づいて実施するものであり、コミュニティーソーシャルワーカーを配置して地域における見守り、発見、つなぎ機能を強化することにより、相談体制の充実を図り、個別支援だけでなく地域ぐるみで支える仕組みづくり、結びつけていく地域支援にも取り組むこととしております。

これらのことから、1つとして、次世代を担う子供の妊娠、出産から、その成長に合わせて切れ目のない支援、もう一つとして、複雑化、重層化する課題に対しても対応可能な相談支援を取り組むべき喫緊の課題であると考え、取り組んでいくこととしております。

次に、2、取り組みに必要な機能でございますが、子供の切れ目のない支援のため、子育て支援センター、こども発達支援室、障がい児相談支援事業所及び中央保健センター機能の統合による連携強化、また複雑化、重層化する課題に対応するため、障がい者相談支援機能、高齢者相談支援機能、福祉総合相談支援機能の統合により、高齢、障がい、子供などの属性や分野に関係なく相談支援が包括的に行える機能の創出を図ってまいりたいと考えております。

次に、3、保健福祉拠点施設の考え方についてでございますが、これら総合的な支援体制を早期に構築したいと考えておりまして、新たな保健福祉拠点として、公共交通機関によるアクセスのしやすさ、一定規模の面積を確保できること、市街地再開発による補助事業の活用が見込めること等を考慮した結果、伊勢市駅前市街地再開発事業によって建設が予定されている物件が拠点施設として適していると考えられることから、その保留床を取得することにより拠点施設の整備を進めたいと考えております。

なお、新たな施設整備に際しましては、市が保有する福祉施設の床面積については十分に考慮し、適切に対応してまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。よろしく御協議賜りますようお願いいたします。

◎品川幸久委員長

ただいまの説明に対しまして御発言はありませんか。よろしいですか。
吉井委員。

○吉井詩子委員

御説明ありがとうございます。

この保健福祉拠点施設については何度か御報告もいただいております、必要な機能であると思いますので進めていっていただきたいと思います。

やはり、これを聞いたときに、市民の方がもやもやするポイントというのが2点あると思うんです。

1点は、やはり、これをつくることによってどういうふうなことが自分たちの地域に関係してくるのかという、例えばその仕組みづくりの点について、ランチとかという形でどういうふうに仕組みをつくっていくのか、コミュニティーソーシャルワーカーとかどういうふうに機能していくのかという点というのはやはり気になることではないかと。

もう1点は、やはり公共施設のマネジメントの中で、先ほどもありましたが、いろんな施設の関係でここを新たに取得するということの必要性ということが、やはりもやもやポイントの2点ではないのかと思いますので、まず1点目、この仕組みづくりについて、地域の相談窓口をどうしていくのか、そしてそれをこの総合的な窓口とどう機能させていくのかということ、地域包括ケアのこれからの共生社会へというふうに進む中で、どのように考えているのか、お考えをお聞かせ願いたいと思います。

◎品川幸久委員長

福祉総務課長。

●大桑福祉総務課長

それでは、委員の御質問にお答えさせていただきます。

まず、1点目でございますけれども、この駅前の拠点施設につきましては、ライフセーフティネット事業の中核的な施設として存在するわけでございますけれども、基本的にはコミュニティーソーシャルワーカーにつきましては、地域に出向きましてアウトリーチ型の支援をすることとしております。

困っている方に寄り添って行います個別支援のほかに、地域全体で支える仕組みの構築あるいは地域の底力を高める地域支援、こちらにも取り組むこととしておりまして、地域支援を行う中で地域における関係機関のネットワークを構築いたしまして、そのネットワークに各地域でのランチとしての機能を備えるというふうなことを考えておるところでございます。

また、公共施設マネジメントの関係でございますけれども、今回新たな施設を取得するというに伴いまして、福祉施設の全体的な保有量というものも増えるわけではございませんけれども、施設によりましては民間活力の活用を検討するなど、福祉施設全体では保有量が増えないように調整を図っていきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

◎品川幸久委員長
吉井委員。

○吉井詩子委員
わかりました。

まず、1点目なんです、これからこの拠点施設ができるのは平成32年だと思うんですが、それまでの間にやはりこの仕組みづくりというものを徐々につくっていただきたいと思います。

その中で、その時々に応じて説明というものがあると思うんですが、今回のこの説明、機能の説明などを見せていただきますといろいろなものを寄せたというような、どちらかというと行政側の視点に立った説明ではないのかなと思いますので、やはり市民の方にとってどの施設がどこの課に属するか余り関係ないことで、要は自分たちが相談をどこへしに行っていかわからない市民が本当に相談できるのかとか、ここへ行ったら何でも聞いてもらえるのかとか、そういうふうな形で理解できるような説明の仕方をしていただきたいと思うんですが、そういう点についていかがでしょうか。

◎品川幸久委員長
福祉総務課長。

●大桑福祉総務課長

私どもとしましては、生活に困り事がございましたら何でも対応させていただくということで考えておりますので、そのようにこの施設ができるに当たりましては、市民の方にも十分御説明を申し上げてまいりたいと、このように考えております。

◎品川幸久委員長
吉井委員。

○吉井詩子委員
そのようにお願いします。

それで、何でも受け付けてくれる、その受け付けた後、専門的な相談の機関につなぐこともあるかと思うんですが、そこでやはりたらい回しにされたというふうに感じられるようでは、今までと何ら変わらないと思いますので、そこでどう寄り添っていくのかということが大切になってくるかと思っておりますので、その辺の考えをしっかりとっていただきたいと思っております。

2点目の、公共施設についてなんです、やはり今聞いただけでも空き校舎とか使えないのかなと思う方もみえると思いますし、また中央保健センターが、これが空いてきたらどうなるのかなと疑問を持つ方がいると思いますので、その辺の説明について、どのようにされるのかということをお聞きしたいと思っております。

◎品川幸久委員長
健康福祉部長。

●江原健康福祉部長

中央保健センターができた後でというふうなことでございます。

現在、福祉健康センター、さまざまな機能を保有しておりまして、それぞれ必要な施設であるというふうに考えております。

ただ、先ほど課長が申しあげましたように、全体として床面積がふえないようにということで、現在、内部で検討中でありまして、しかるべき時期が来ましたら、またその辺のことにつきましても詳しく御説明申し上げたいというふうに考えております。よろしくお願いたします。

◎品川幸久委員長

他に御発言はありませんか。よろしいですか。

中村委員。

○中村豊治委員

今、説明いただいたわけでありますが、特に保留床の活用等々、今、報告されておるんですが、実際に保留床の活用等について、どれだけのお金がかかっていくのか、将来的にどうなんやというようなところまで検討されておると思うんですけども、この点、投資金額がどの程度になるのか、教えていただきたいというふうに思います。

◎品川幸久委員長

暫時休憩します。

休憩 午前 10時55分

再開 午前 10時55分

◎品川幸久委員長

休憩を閉じ、会議を続けます。

福祉総務課長。

●大桑福祉総務課長

どれくらいの金額になるかということがございますけれども、今現在、詳細に検討を重ねておるところでございます、やはり床面積がどれくらいになるかということが非常に大きな要素になってくるかと思っております。ですので、現段階では具体的な数字というものはちょっとお示しすることができませんので、御理解を賜りたいと思っております。

以上でございます。

◎品川幸久委員長
健康福祉部長。

●江原健康福祉部長

これから詳細にどれほどの面積が要るのか、この機能を入れてどれほどの面積が要るのかというところを詳細に検討いたしまして、全体の規模が決まってきたら、その整備費用とか、あとどういう補助金が活用できるのか、いろいろこれから検討していくというようなことがございます。

先ほど、別件でも申し上げましたように、その詳細が決まってきましたら、また御報告も申し上げたいと、このように考えておりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

◎品川幸久委員長
中村委員。

○中村豊治委員

今、先議みたいなことを言っていましたけれども、これは実際にやっぱりそこまでわからんという議論ができないわけです。正直申し上げて。どの程度の保留床を活用していくのか、どの程度の予算をそこへ投入していくのか、それがないとこれはやっぱり議論できないというぐあいに思いますので、この点、やっぱりきちっと明確にさせていただいて議論できるような、そういうような内容でぜひ報告いただきたいというふうに思います。

それから、実際に、今、吉井委員のほうから小・中学校の跡地利用の質問も出たんですけども、やっぱりいろんな施設が余っていくわけです。伊勢市として。そういう施設の活用も含めて、これは検討していかないかと思うんですけども、今、公共施設マネジメントの問題とか公共施設等総合管理計画とか、さらに人口の推移の問題、非常に人口が減少してくる、このようなことも総合的に判断をして、この施設等については本当にそういう空き教室等々を含めて活用できないのかどうかというようなことも含めて、全て中央、中央に寄せてしまうと、周辺の方も非常に不便になっていきますので、そういう中央集権というようなことではなしに、やっぱり全体の中できちっとそういう見直しを私はずるべきだというふうに思うんですけども、この点いかがですか。

◎品川幸久委員長
健康福祉部長。

●江原健康福祉部長

先ほど、ランチというようにお話もございました。やはり、地域、地域の拠点、いろんな情報を集めていただいたり、それをつないでいただくような機能も必要かと思います。ですので、これからの施設、いろいろ統廃合される中でそういった活用もできると考え

ておりますので、その辺も検討いたしていきたいと、このように考えております。よろしくをお願いいたします。

◎品川幸久委員長

他に御発言はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

発言もないようですので、本件についてはこの程度で終わります。

以上で、御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして教育民生委員協議会を閉会いたします。長時間ありがとうございました。

閉会 午前10時59分